

学校教育目標

『 優しく、賢く、逞しく ～未来を切り拓く生徒の育成～ 』

どれだけ努力したか（努力評価）ではなく、どれくらい成果をあげられたか（結果評価）で、八千代中学校の教育活動を評価する

《めざす教師像》プロとしての自覚と誇りを持つ教職員

☆「教育は人なり」である。教師の資質・指導力の向上を図ることは、子ども同士の良好な人間関係や主体的に課題に向かう態度を育み、学校力の向上につながる。

- （１）生徒理解に努め、個々の生徒を鍛え伸ばす教師
 - ・子どもと本気で向き合う教師
 - ・あたたかい心で子どもに接し、認め育てる教師
 - ・良くないことは毅然と叱ることができる教師
- （２）自己研鑽に励み、授業力の向上に努める教師
 - ・常に授業力の向上に努める教師
 - ・授業を通して、子どものやる気を育てる教師
 - ・広い視野で学び続ける教師（常にアップデートの意識）
- （３）仲間と協働して、チームで取り組む教師
 - ・「チーム学校」を常に意識して取り組む教師
 - ・積極的にコミュニケーションを図り、課題に向けてともに歩む教師
 - ・職員全員で子どもを育てる教師集団
- （４）地域から信頼され、家庭と一緒に子どもを伸ばす教師
 - ・地域や関係機関とのつながりを活かす教師
 - ・教育公務員としての責任を自覚し、自己管理に努める教師
 - ・保護者と協力して子どもを育てる教師

（令和７年度 教職員の重点目標）

コミュニケーションの活性化による共通理解・早期対応 ～「報・連・相」の徹底～